

平成29年度 学校評価結果概要

宮城県立名取支援学校

1 外部アンケート（保護者）の結果（「4」～「1」の4段階評価、中間値は2.5）

(1) 回収率 74%（昨年度の回収率 90%）

(2) 評価が高かった項目

B重点努力目標

- 3「個別の指導計画，個別の教育支援計画を活用した指導」（3.7）
- 4「児童生徒の体力・健康の増進への取組」（3.7）

Dその他

- 14「個人情報保護の適切な取り扱い」（3.7）
- 16「児童生徒，保護者への誠実な対応」（3.7）
- 17「子どもが喜んで登校している」（3.7）

(3) 評価の低かった項目

該当無し

2 職員自己評価の結果（「4」～「1」の4段階評価、中間値は2.5）

(1) 回収率 85%（昨年度の回収率 100%）

(2) 評価が高かった項目

A教育目標等

- 1「教育目標の設定」（3.7）

B重点努力目標

- 16「家庭支援の努力」（3.7）

Dその他

- 22「個人情報保護の適切な取り扱い」（3.7）
- 23「おたより，連絡帳等を通じた学校の様子の伝達努力」（3.9）
- 24「家庭とのきめ細かい連絡」（3.8）

(3) 評価の低かった項目

- ▼ 8「授業作りを通じた志教育の充実（校内研究）」（3.3）
- ▼ 12「学校外での研修等，研修の充実」（3.2）
- ▼ 25「学校評価の効果的な反映」（3.3）

3 改善に向けて

学校教育目標，重点努力目標を中心に評価項目を焦点化するとともに，外部アンケートと職員自己評価の評価項目のリンクを明確にして実施したことにより，学校の目指している方向性の是非，現在の本校が抱えている課題を的確に把握することができた。

昨年度までは保護者のアンケートを先行し，そのアンケートを受けて職員が自己評価を実施していた。今年度から保護者アンケート及び職員自己評価を同時に実施した。混乱なくスムーズに実施できたが回収率が昨年度を下回った。回収方法の工夫が今後必要であると思われる。

出された意見についてはもれなく関係部署に伝え，関係部署ごとに改善策を吟味し，関係部署からの報告を尊重しながら全体会で改善策を検討し全職員で共通理解を図る，という方法で評価を進めた。学校全体，各部署ごとの次年度計画立案において，今年度の学校評価を十分に生かしていくことができると思われる。